

偉大なる人道主義者—ゼネラル・樋口

エルサレムの丘に高さ3m、厚さ1mの本を広げたゴールデン・ブックという「黄金の碑」がある。ユダヤ人に功績のあった人々の恩を永久に讃えるために、世界各国のユダヤ人が金貨や指輪などを送って鑄造したものだ。

ここにモーゼ、メンデルスゾーン、アインシュタインなどの傑出したユダヤの偉人たちにまじって、上から四番目に「偉大なる人道主義者、ゼネラル・樋口」と、その部下であった「安江仙江大佐」の名が刻まれている。

1938年1月15日、満州ハルビン商工会議所で「第一回極東ユダヤ大会」が開催された。来賓で挨拶した樋口季一郎少将はこう語った。「ヨーロッパのある一国はユダヤ人を好ましからぬ分子として、法律上同胞であるべき人々を追放するという。私は個人としてこのような行為に怒りを覚え、心から憎まずにいられない。ユダヤ人を追放する前に彼らに土地を与えよ！、安住の地を与えよ！、そしてまた祖国を与えなければならないのだ！」。

演説が終わると、すさまじい歓声がおこった。熱狂した青年が壇上に駆け上がって、樋口少将の前に膝ひざまずいて号泣しはじめた。協会の幹部たちも感動の色を浮かべ、つぎつぎに握手を求めてきた。

1938年3月8日、樋口少将のもとに「ナチスのユダヤ狩りから逃れてきた約二万人のユダヤ難民が吹雪の中で立ち往生している」との一報が入る。ハルビンのユダヤ人協会会長カウフマン博士がかけつけ、同胞の窮状を訴えた。

樋口少将は職務権限違反を承知で即答した。「難民の件は承知した。誰がなんと言おうと私が引き受ける」。その力強い言葉に博士はきわまり、声を上げて泣いた。

そして3月12日、ハルビン駅に轟然たる地響きをたてて列車が滑り込んできた。瘦せたひげだらけの顔が、窓に鈴なりになって並んでいる。期せずして、はげしいどよめきの声がホームいっぱいひびきわたった。

列車が停止すると、救護班がまっさきに車内にとびこんだ。病人や凍傷で歩けない人たちが、つぎつぎにタンカで運びだされてくる。ホームのあっちこちで、誰かれの別なく肩にとつき、相擁して泣き崩れる難民たち。

やつれはて、目ばかりギョロつかせていた子供たちは、ミルクの入った瓶をみると狂ったように吠え、わめき、オイオイと泣きだした。

数刻後、樋口少将はオトポールの難民全部がハルビンに収容されたという報告をうけた。凍死者は十数人、病人と凍傷患者二十数名をのぞいた全員が、商工クラブや学校に収容され、炊きだしをうけているという。

救援列車の手配がもう一日遅れたら、これだけの犠牲者ではすまなかつたらうと医師たちは言った。

樋口少将のこのユダヤ難民救済に対して、当時同盟関係を結んでいたドイツから強硬な抗議がきた。これを、「樋口のやったことは間違っていない。日本はドイツと同盟を結んでいるが属国ではない」と断固はねつけたのが東条英機参謀長だったのである。

よく知られるリトアニアの在カナウス日本領事代理として、逃げ場を失ったユダヤ人に2139通の日本通過ビザを出し、6千人の命を救った杉原千畝氏の偉業はその翌年、1940年のことである。

当時の日本軍占領下の上海は、ビザなしの渡航者を受け入れる世界で唯一の上陸可能な市だった。ユダヤ難民は、シベリア鉄道で満州のハルビンを経由し、陸路、上海に向かうか、日本の通過ビザを取得して、ウラジオストックから、敦賀、神戸を経由して、海路、上海を目指すルートをとった。

杉原千畝氏が命がけで日本の通過ビザを発行した6千人のユダヤ人難民は、後者のルートを通った。そして、前者のルートで2万人のユダヤ人を救ったのが、樋口季一郎少将である。

当時、日本は「八紘一宇」を国是とし、人種平等主義を貫いていたから、この例に限らずヨーロッパ各地の領事館で同様のことが行われ、多くのユダヤ難民を救ったのだった。(引用は国際派日本人養成講座 2万人のユダヤ人を救った樋口少将から)

・ 樋口少将はその後中將となつて、大東亜戦争では1942年8月1日、札幌に司令部を置く北部軍司令官として北東太平洋陸軍作戦を指揮した。アッツ島玉砕、キスカ島撤退、敗戦後の占守島、樺太における戦闘を指揮し、占守島ではソ連軍千島侵攻部隊に打撃を与え、北海道占領を阻止した。

- ・ そのためスターリンは当時軍人として札幌に在住していた樋口を「戦犯」に指名した。世界ユダヤ協会はいち早くこの動きを察知して、世界中のユダヤ人コミュニティーを動かし、在欧米のユダヤ人金融家によるロビー活動も始まった。
- ・ 世界的な規模で樋口救出運動が展開された結果、[ダグラス・マッカーサー](#)はソ連からの引き渡し要求を拒否して、樋口の身柄を保護したのだった。

カテゴリ: [コラむ](#) フォルダ: [指定なし](#)   

[コメント\(6\)](#)

タグ: [ユダヤ人救出](#) [樋口少将](#)

コメント(6)

[コメントを書く場合はログインしてください。](#)



Commented by [RAM さん](#)
hanausagi様、こんばんは。

2008/08/27 00:39

フォントの種類や大きさなどで、見せ方の工夫を試行錯誤されているようです。このエントリのように「明朝体」が使われるのなら、もう一段大きな字(small)にされた方が、読みやすいと思います。

エントリの内容については、RAMは既知の話ではありますが、思う度に胸に迫るものがありますね。



Commented by [花うさぎ さん](#)
RAMさん おはようございます。

2008/08/27 06:10

ご指摘のとおりで、自宅はナナオの19インチ、事務所はSGI1600SW17インチワイドと、解像度が全然違うので、普通の方が見た場合にどのフォントと文字の大きさが適正なのか、正直迷っているのです。

ご指摘ありがとうございました。皆さんのようなブロガーにとっては「何を今更」という内容ですが、あまりにも戦前の日本は悪かったという刷り込みが一般ではいっこうに解消されない現状なので、スタートにあたって何本か紹介した次第です。

今後ともよろしくご指導下さい。



Commented by [すずめめだか さん](#)
おはようございます。

2008/08/27 10:06

見せ方について、知識のない一般人の意見を述べさせていただきます。明朝体は、横文字には、違和感があるのと視力の弱い私は読みづらいものです。

またあまり文章が長いと取り掛かりの気持ちが萎えます。できれば数日に分けていただくとよろしいのでは。



Commented by [花うさぎ さん](#)
To [suzumemedakaさん](#)

2008/08/27 10:17

>明朝体は、横文字には、違和感があるのと視力の弱い私は読みづらいものです。

判りました。今後はゴチック体でいきます。

>またあまり文章が長いと取り掛かりの気持ちが萎えます。
>できれば数日に分けていただくとよろしいのでは。

なるほど、今回は二回に分けた方が良かったかも知れません。今後はそのように致します。コメント感謝です。



Commented by [無駄話 さん](#)
私もモニターを見ていると目がかすんできます。文字は大きい方が読みやすいです。

2008/08/28 14:43

なお、「東条英樹参謀長だったのである。」ではなく、「英機」です。

2008/08/28 15:15



Commented by **花うさぎ さん**

To 無駄話さん

>私もモニターを見ていると目がかすんできます。文字は大きい方が読みやすいです。

了解しました。RAMさんの言うとおりのsmallでいきます。

>なお、「東条英樹参謀長だったのである。」ではなく、「英機」です。

ご指摘感謝です。判っているのに変換ミスを見逃しました。